・眺望点 28　天狗の庭

対象事業実施区域から北西へ約 4.1 ㎞の位置にある眺望点で、対象事業実施区域はその周辺の樹林により遮蔽され視認できない。紅葉狩りスポットとして展望等の利用があり、不特定多数が利用する箇所である。

<table>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>周辺状況（木柱看板）</td><td>周辺状況（解説板）</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>眺望（吾妻小富士方向）</td><td>眺望（対象事業実施区域方向）</td></tr>
</table>

第 6.8-3 図(28)　眺望点の状況（眺望点 28　天狗の庭）

・眺望点 29　吾妻小富士

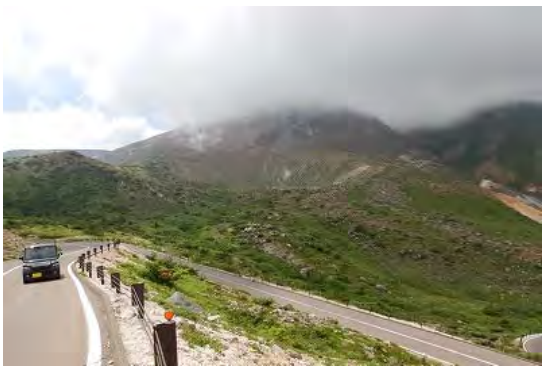
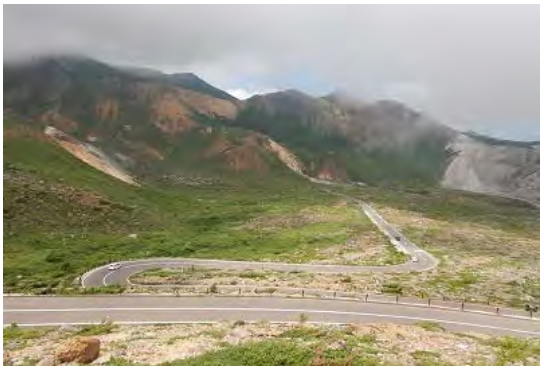
対象事業実施区域から西へ約 3.9 ㎞の位置にある眺望点で、対象事業実施区域の一部を視認できる。地元の人々に古くから親しまれている名山で、登山や展望等の利用があり、不特定多数が利用する箇所である。

<table>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>周辺状況（火口壁東側）</td><td>周辺状況（火口）</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>眺望（浄土平方向）</td><td>眺望（対象事業実施区域方向）</td></tr>
</table>

第 6.8-3 図(29)　眺望点の状況（眺望点 29　吾妻小富士）

・眺望点 30　磐梯吾妻スカイライン

対象事業実施区域から西へ約 4.5 ㎞の位置にある眺望点で、対象事業実施区域は手前の尾根により遮蔽され視認できない。高湯温泉と土湯峠を結ぶ全長約 29km の観光道路である。展望やドライブ等の利用があり、不特定多数が利用する箇所である。

<table>
<tr><td> </td><td>  </td></tr>
<tr><td>周辺状況（駐車スペース）</td><td>眺望（西方向）</td></tr>
<tr><td>  </td><td> </td></tr>
<tr><td>眺望（北方向）</td><td>眺望（対象事業実施区域方向）</td></tr>
</table>

第 6.8-3 図(30)　眺望点の状況（眺望点 30　磐梯吾妻スカイライン）

・眺望点 31　浄土平

対象事業実施区域から西へ約 4.7 kmの位置にある眺望点で、対象事業実施区域は吾妻小富士により遮蔽され視認できない。ビジターセンターに隣接する浄土平湿原には木道や解説板が整備され、散策や展望等の利用があり、不特定多数が利用する箇所である。

<table>
<tr><td>
</td><td> </td></tr>
<tr><td>周辺状況（看板）</td><td>周辺状況（浄土平湿原）</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>眺望（吾妻小富士）</td><td>眺望（対象事業実施区域方向）</td></tr>
</table>

第 6.8-3 図(31)　眺望点の状況（眺望点 31　浄土平）

・眺望点 32　東吾妻山

対象事業実施区域から西へ約 6.8 kmの位置にある眺望点で、対象事業実施区域は手前樹林により遮蔽され視認できない。吾妻小富士の南西に位置し、山頂からは磐梯山、猪苗代湖、一切経山、吾妻小富士等が望め、浄土平からの登山コースがある。山頂からは登山や展望等の利用があり、不特定多数が利用する箇所である。

<table>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>周辺状況（山頂東側）</td><td>周辺状況（山頂北東側）</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>眺望（北方向）</td><td>眺望（対象事業実施区域方向）</td></tr>
</table>

第 6.8-3 図(32)　眺望点の状況（眺望点 32　東吾妻山）

・眺望点 33　双竜の辻

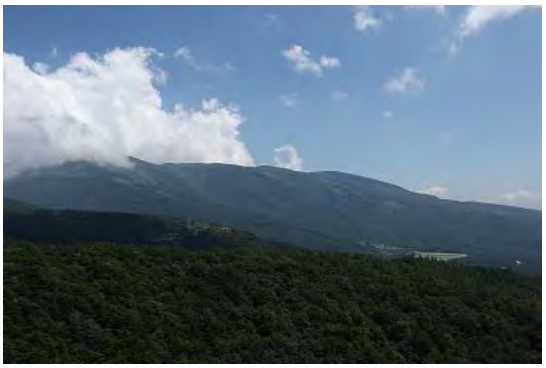
対象事業実施区域から西南西へ約 6.8 ㎞の位置にある眺望点で、対象事業実施区域は手前の尾根により遮蔽され視認できない。南西の磐梯山と南東の安達太良山を望む展望地である。展望等の利用があり、不特定多数が利用する箇所である。

<table>
<tr><td>
</td><td>
</td></tr>
<tr><td>周辺状況（木柱看板）</td><td>周辺状況（解説板）</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>眺望（安達太良山方向）</td><td>眺望（対象事業実施区域方向）</td></tr>
</table>

第 6.8-3 図(33)　眺望点の状況（眺望点 33　双竜の辻）

・眺望点 34　国見台

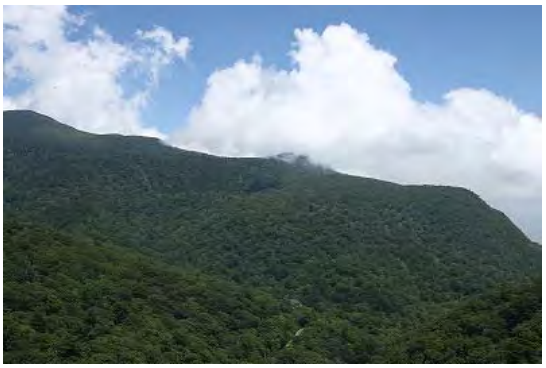
対象事業実施区域から南西へ約 7.5 ㎞の位置にある眺望点で、対象事業実施区域は手前の尾根により遮蔽され視認できない。西に広がる会津盆地を望む展望地である。展望等の利用があり、不特定多数が利用する箇所である。

<table>
<tr><td>
</td><td>
</td></tr>
<tr><td>周辺状況（木柱看板）</td><td>周辺状況（解説板）</td></tr>
<tr><td> </td><td>  </td></tr>
<tr><td>眺望（東方向）</td><td>眺望（対象事業実施区域方向）</td></tr>
</table>

第 6.8-3 図(34)　眺望点の状況（眺望点 34　国見台）

・眺望点 35　天風境

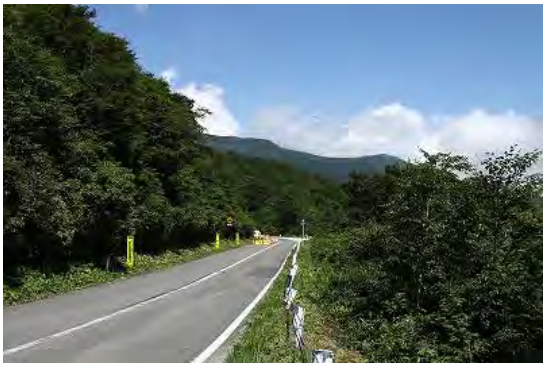
対象事業実施区域から南西へ約 7.6 kmの位置にある眺望点で、対象事業実施区域は手前の尾根により遮蔽され視認できない。北東に位置する幕滝が望める展望地である。展望等の利用があり、不特定多数が利用する箇所である。

<table>
<tr><td>
</td><td>
</td></tr>
<tr><td>周辺状況（木柱看板）</td><td>周辺状況（解説板）</td></tr>
<tr><td> </td><td>  </td></tr>
<tr><td>眺望（幕滝方向）</td><td>眺望（対象事業実施区域方向）</td></tr>
</table>

第 6.8-3 図(35)　眺望点の状況（眺望点 35　天風境）

・眺望点 36　湖見峠

対象事業実施区域から南西へ約 8.1 ㎞の位置にある眺望点で、対象事業実施区域は手前の尾根により遮蔽され視認できない。西に位置する猪苗代湖、秋元湖、小野川湖、桧原湖の四つの湖を遠望できる展望地である。展望等の利用があり、不特定多数が利用する箇所である。

<table>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>周辺状況（木柱看板）</td><td>周辺状況（解説板）</td></tr>
<tr><td> </td><td>  </td></tr>
<tr><td>眺望（箕輪山方向）</td><td>眺望（対象事業実施区域方向）</td></tr>
</table>

第 6.8-3 図(36)　眺望点の状況（眺望点 36　湖見峠）

(2) 景観資源の状況

対象事業実施区域周辺に分布する景観資源は、第 6.8-5 表(1)～(2)に、位置図は第 6.8-4 図のとおりである。

第 6.8-5 表(1)　景観資源

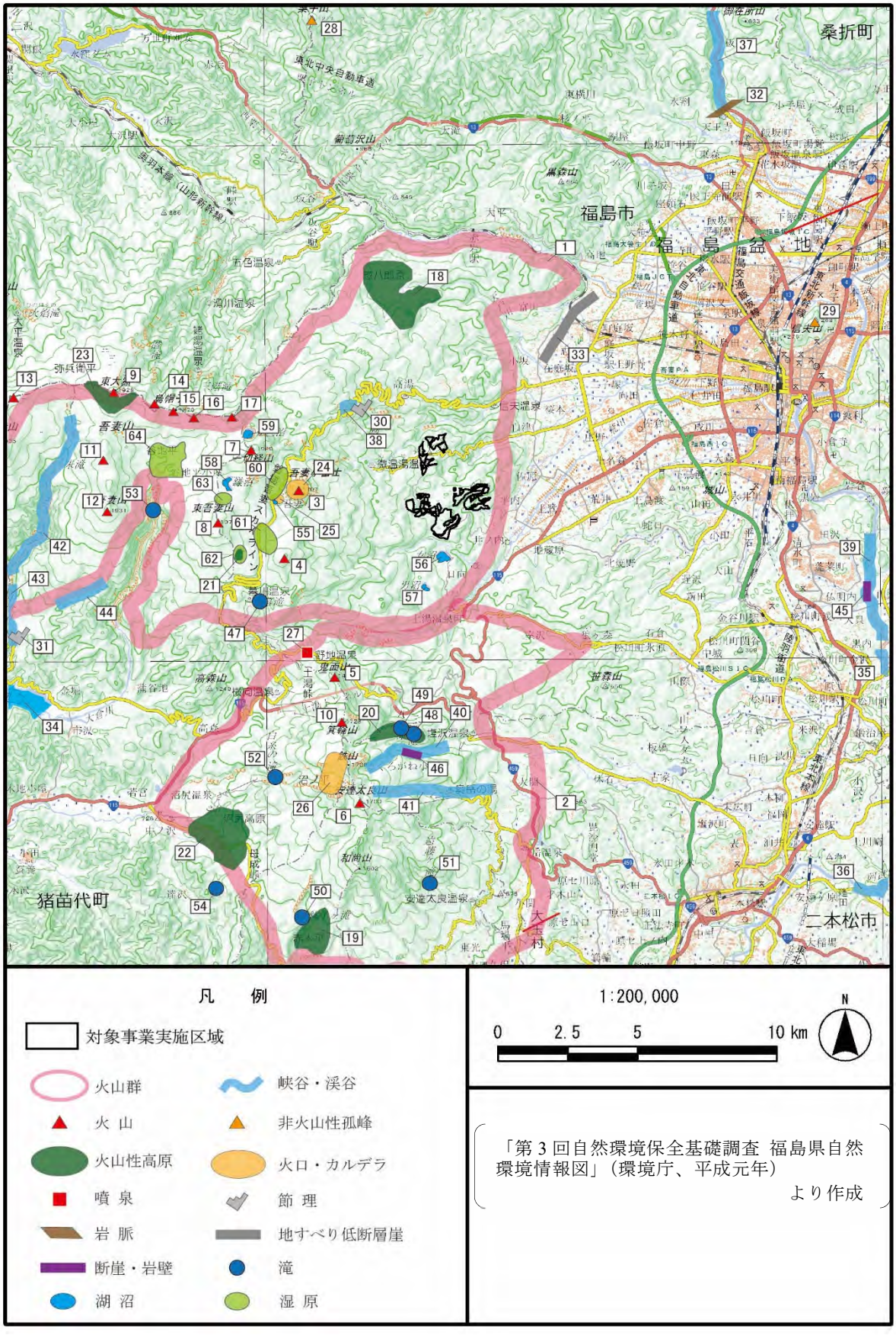
番号	区　分	名　称
1	火山群	吾妻火山群
2		安達太良火山群
3	火山	吾妻小富士
4		高山
5		鬼面山
6		安達太良山（乳首山）
7		一切経山
8		東吾妻山
9		東大嶺
10		箕輪山
11		継森
12		中吾妻山
13		中大嶺
14		昭元山
15		烏帽子山
16		ニセ烏帽子山
17		家形山
18	火山性高原	惣八郎原
19		赤木平高原
20		しゃくなげ平（僧悟台）
21		景場平高原
22		沼尻高原
23		東大嶺
24	火口・カルデラ	吾妻小富士火口
25		桶沼（火口）
26		沼ノ平爆裂火口
27	噴泉	野地温泉
28	非火山性孤峰	栗子山
29		信夫山
30	節理	溶岩流の板状節理
31		レークライン道路下の節理
32	岩脈	穴原の第三漣痕
33	地すべり低断層崖	黄金坂の活断層崖

第 6.8-5 表(2)　景観資源

番号	区　分	名　称
34	峡谷・渓谷	浅見川渓谷
35		阿武隈渓谷
36		鳥山の阿武隈渓谷
37		摺上渓谷
38		不動沢渓谷（つばくろ谷）
39		蓬莱峡（阿武隈渓谷）
40		湯川渓谷
41		鳥川渓谷（安達太良渓谷）
42		中津川渓谷
43		黒骨八丁・白骨八丁・ザラ八丁（中津川渓谷下部）
44		唐松川渓谷
45	断崖・岩壁	大日岩・蓬莱岩
46		屏風岩
47	滝	幕滝
48		三階滝
49		八幡滝
50		銚子ヶ滝
51		遠藤ヶ滝
52		白糸の滝
53		大滝
54		達沢不動滝
55	湖沼	桶沼
56		女沼
57		男沼
58		鎌沼
59		五色沼
60	湿原	浄土平
61		鳥子平
62		景場平
63		姥ヶ原
64		谷地平湿原

注：表中の番号は、第 6.8-4 図の図中の番号に対応する。

〔「第 3 回自然環境保全基礎調査　福島県自然環境情報図」（環境庁、平成元年）より作成〕



第 6.8-4 図　景観資源の位置

(3) 主要な眺望景観の状況

主要な眺望景観は以下に示すとおりである。

1) 花見山公園（山頂展望場）

対象事業実施区域方向を望む眺望景観は、第 6.8-5 図のとおりである。

景観資源としては、吾妻小富士及び東吾妻山が眺望できる。

眺望景観　（撮影日：平成 31 年 4 月 10 日）

第 6.8-5 図　主要な眺望景観（花見山公園（山頂展望場））

2) 信夫山公園（烏ヶ崎展望デッキ）

対象事業実施区域方向を望む眺望景観は、第 6.8-6 図のとおりである。

景観資源としては、吾妻小富士及び東吾妻山が眺望できる。

眺望景観　（撮影日：平成 31 年 4 月 12 日）

第 6.8-6 図　主要な眺望景観（信夫山公園（烏ヶ崎展望デッキ））

3)大森城山公園

対象事業実施区域方向を望む眺望景観は、第 6.8-7 図のとおりである。

景観資源としては、吾妻小富士及び東吾妻山が眺望できる。

眺望景観　（撮影日：平成 31 年 4 月 12 日）

第 6.8-7 図　主要な眺望景観（大森城山公園）

4)アンナガーデン

対象事業実施区域方向を望む眺望景観は、第 6.8-8 図のとおりである。

景観資源としては、吾妻小富士及び東吾妻山が眺望できる。

眺望景観　（撮影日：平成 31 年 4 月 11 日）

第 6.8-8 図　主要な眺望景観（アンナガーデン）

5)道の駅つちゆ

対象事業実施区域方向を望む眺望景観は、第 6.8-9 図のとおりである。

景観資源としては、吾妻小富士及び東吾妻山が眺望できる。

眺望景観　（撮影日：平成 31 年 4 月 12 日）

第 6.8-9 図　主要な眺望景観（道の駅つちゆ）

6)つばくろ谷（不動沢橋）

対象事業実施区域方向を望む眺望景観は、第 6.8-10 図のとおりである。

景観資源としては、つばくろ谷の紅葉（秋）が眺望できる。

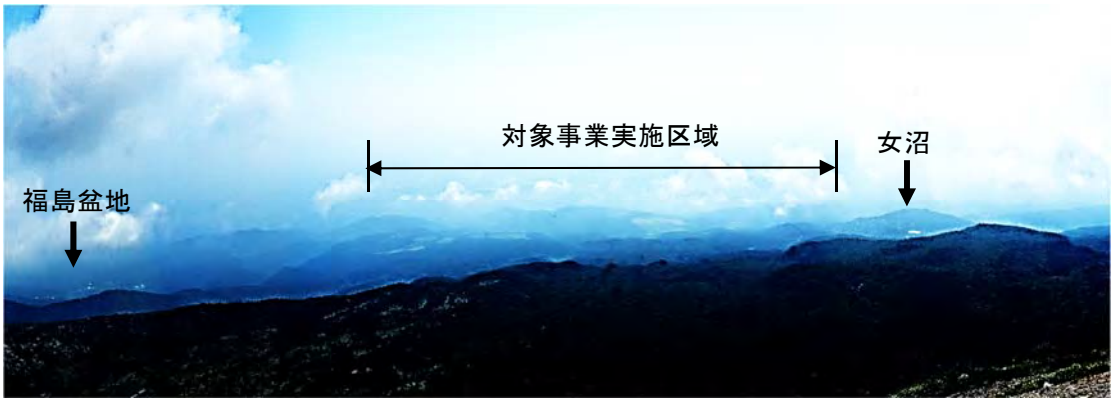
眺望景観　（撮影日：令和元年 8 月 5 日）

第 6.8-10 図　主要な眺望景観（つばくろ谷（不動沢橋））

7)吾妻小富士

対象事業実施区域方向を望む眺望景観は、第 6.8-11 図のとおりである。

景観資源としては、福島盆地及び女沼が眺望できる。



眺望景観　（撮影日：令和元年 8 月 6 日）

第 6.8-11 図　主要な眺望景観（吾妻小富士）

6.8.2 予測及び評価結果

1. 予測項目

予測項目は、「土地又は工作物の存在及び供用（敷地の存在（土地の改変)、構造物の存在)」に係る主要な眺望点及び景観資源への影響、主要な眺望景観への影響とした。

2. 予測手法

(1) 主要な眺望点及び景観資源の状況

主要な眺望点及び景観資源の位置と対象事業実施区域を重ね影響の有無を予測した。

(2) 主要な眺望景観の状況

主要な眺望点から撮影する現況の眺望景観の写真に、将来の太陽光発電施設の完成予想図を合成するフォトモンタージュ法により、眺望の変化の程度を視覚的表現によって予測した。なお、施設（太陽電池モジュール等）の配置・規模等は、事業用地の面積・形状に応じて設定したものである。

3. 予測地域

予測地域は、調査地域と同一とした。

4. 予測対象時期

予測対象時期は、全ての太陽光発電施設等が完成した時期とした。

5. 予測結果

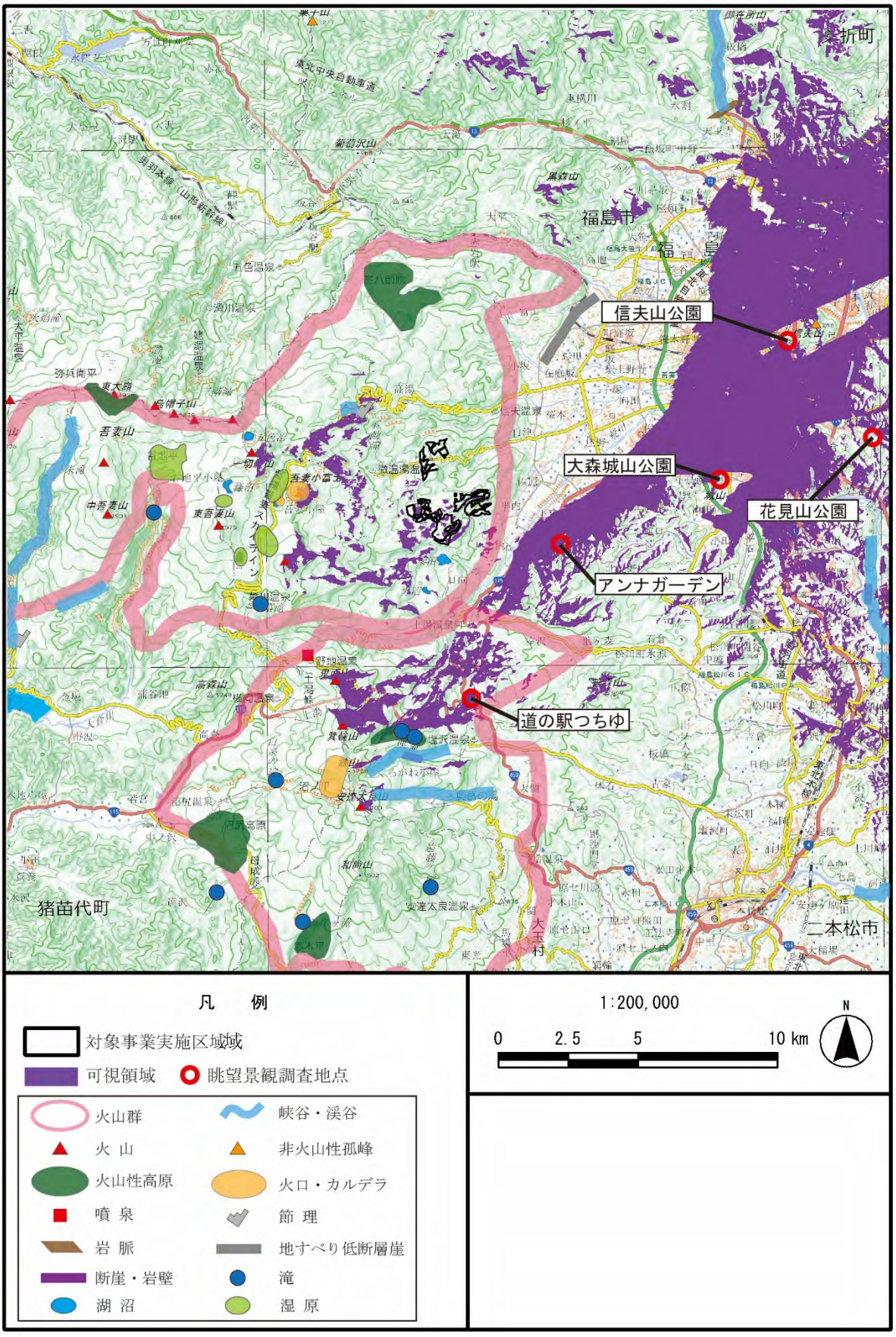
(1) 土地又は工作物の存在及び供用（敷地の存在（土地の改変)、構造物の存在）

主要な眺望点及び景観資源は、第 6.8-2 図、第 6.8-4 図のとおり対象事業実施区域内には存在しないため、土地又は工作物の存在及び供用による直接的な影響は生じないと予測される。

対象事業実施区域の可視状況は、第 6.8-12 図のとおりである。主要な眺望景観からの可視状況としては、花見山公園（山頂展望場)、信夫山公園（烏ヶ崎展望デッキ)、大森城山公園及び道の駅つちゆは遠方での視認であり、眺望景観の変化は遠景に対して生じる。アンナガーデンにおいては、他の主要な眺望景観と比較すると近く、中景から遠景において対象事業実施区域が視認される。

主要な眺望景観への影響を予測した結果は、第 6.8-13 図(1)～(8)のとおりである。花見山公園（山頂展望場)、信夫山公園（烏ヶ崎展望デッキ)、大森城山公園及び道の駅つちゆからの眺望景観は、山地・丘陵地の広がる自然的景観の一部に太陽光施設が僅かに視認されるが、視認される範囲は小さく、影響は小さいと予測される。また、アンナガーデンからの眺望景観は、山地・丘陵地等の自然的景観を背景に太陽光発電施設が視認されるが、事業実施区域内の樹林等により著しく目立つものではないと予測される。つばくろ谷（不動沢橋）及び吾妻小富士からの眺望景観は、遠方を望む視界に太陽光発電施設が入るものの違和感を与えるほどではないため、目立つものではないと予測される。

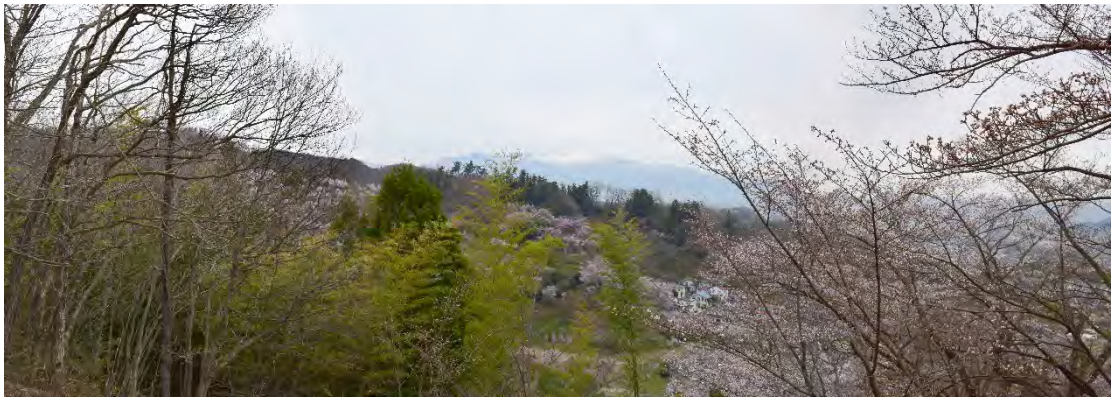
また、信夫山公園や花見山公園といった東側の眺望点からの遠景には吾妻小富士や東吾妻山等の山地を望むが、これらの眺望を遮蔽することはないため影響は小さいと予測される。さらに環境保全措置を講じることで影響はより小さくなると予測される。



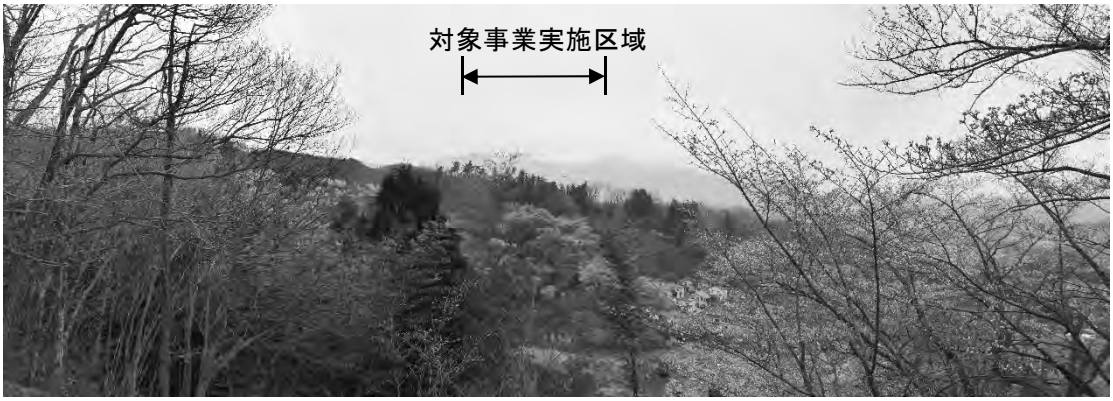
第 6.8-12 図　可視領域区分図

主要な眺望景観の予測結果（花見山公園（山頂展望場））

現況



予測

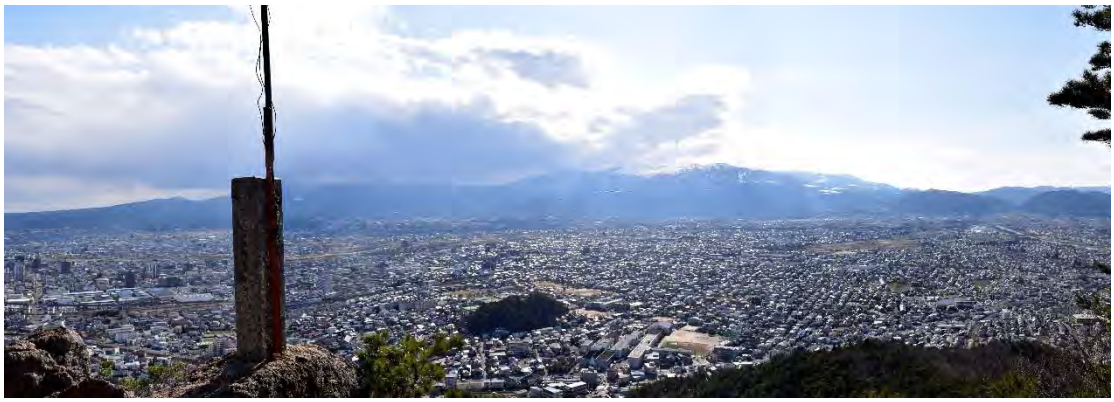


変化箇所（赤表示）

第 6.8-13 図(1)　主要な眺望景観の予測結果（花見山公園（山頂展望場））

主要な眺望景観の予測結果（信夫山公園（烏ヶ崎展望デッキ））

現況



予測

変化箇所（赤表示）

第 6.8-13 図(2)　主要な眺望景観の予測結果
（信夫山公園（烏ヶ崎展望デッキ））

主要な眺望景観の予測結果（大森城山公園）

現況

予測

変化箇所（赤表示）

第 6.8-13 図(3)　主要な眺望景観の予測結果（大森城山公園）

主要な眺望景観の予測結果（アンナガーデン）

現況

予測

変化箇所（赤表示）

第 6.8-13 図(4)　主要な眺望景観の予測結果（アンナガーデン）

主要な眺望景観の予測結果（道の駅つちゆ）

現況

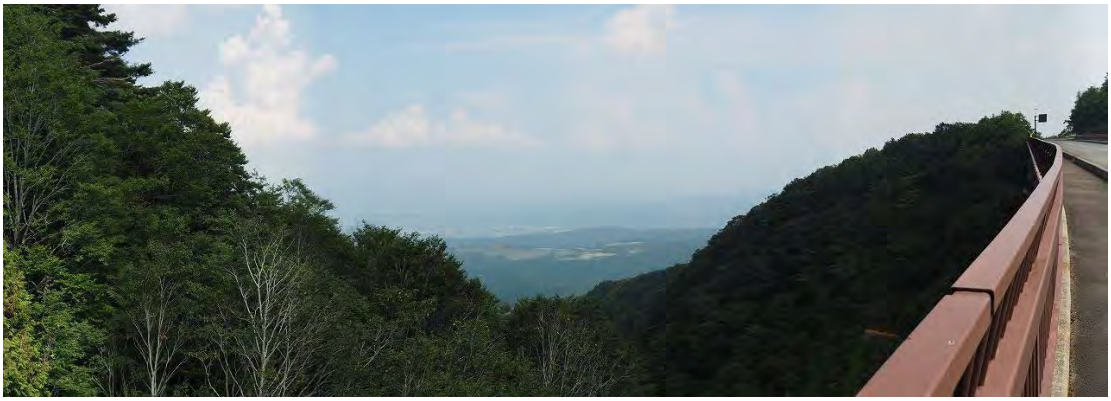
予測

変化箇所（赤表示）

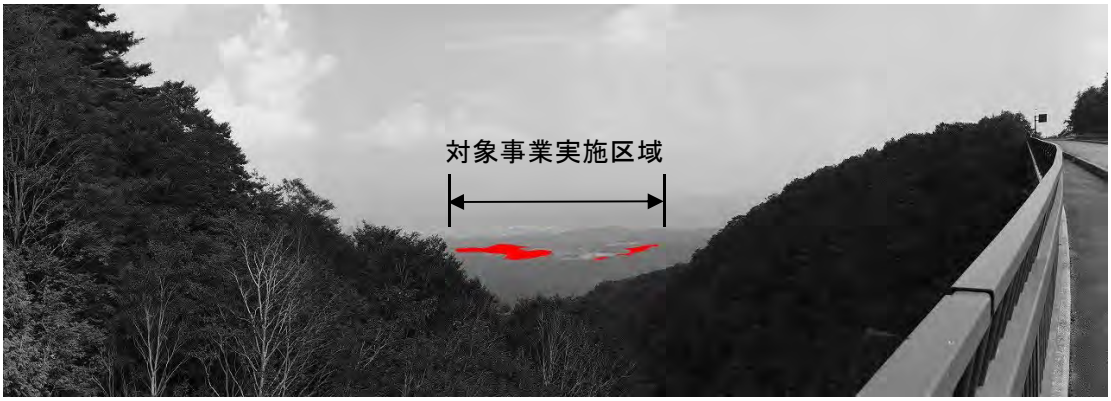
第 6.8-13 図(5)　主要な眺望景観の予測結果（道の駅つちゆ）

主要な眺望景観の予測結果（つばくろ谷（不動沢橋））

現況



予測



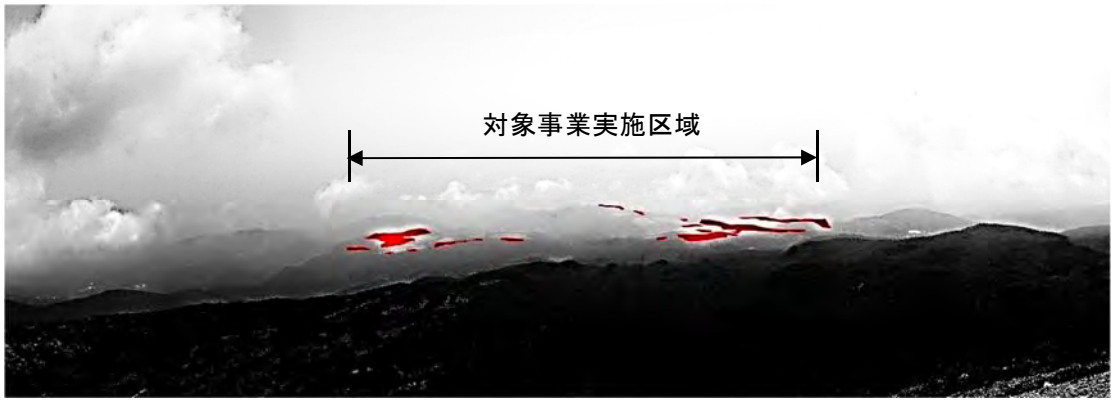
変化箇所（赤表示）

第 6.8-13 図(6)　主要な眺望景観の予測結果（つばくろ谷（不動沢橋））

主要な眺望景観の予測結果（吾妻小富士）

現況

予測



変化箇所（赤表示）

第 6.8-13 図(7)　主要な眺望景観の予測結果（吾妻小富士）

6. 評価結果

(1) 環境保全措置及び環境影響の回避又は低減に係る評価

「土地又は工作物の存在及び供用（敷地の存在（土地の改変)、構造物の存在)」による景観への影響を回避又は低減するため、第 6.8-6 表の環境保全措置を実施する。

環境保全措置の実施により、景観への影響は、事業者の実行可能な範囲内で回避又は低減されると評価する。

第 6.8-6 表　環境保全措置

内　　容
主要眺望点からの景観の状況を考慮し、樹林等の緑地を可能な限り保全することによって太陽電池モジュールの可視範囲の低減を図る。
施設の配置等に配慮し、周辺景観との調和を図る。

6.9 人と自然との触れ合いの活動の場

6.9.1 調査結果の概要

1. 調査項目

調査項目は、人と自然との触れ合いの活動の場の分布・利用状況・利用環境の状況とした。

2. 調査手法

調査手法は第 6.9-1 表のとおりである。

第 6.9-1 表　調査手法

項目	調査の手法	調査方法の概要
人と自然との触れ合いの活動の場の状況	文献及びその他の資料調査	・自治体のホームページや観光パンフレット等による情報の収集並びに当該情報を整理した。
主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布	文献及びその他の資料調査、現地調査	・「人と自然との触れ合いの活動の場」の調査結果から、主要な人と自然との触れ合いの活動の場を抽出し、当該情報を整理した。 ・現地踏査及び聞き取り調査を行い、主要な人と自然との触れ合いの活動の場における利用状況やアクセス状況を把握し、結果を整理した。
主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況		
主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用環境の状況		

3. 調査範囲及び地点

現地調査の調査範囲及び地点は第 6.9-1 図のとおりである。

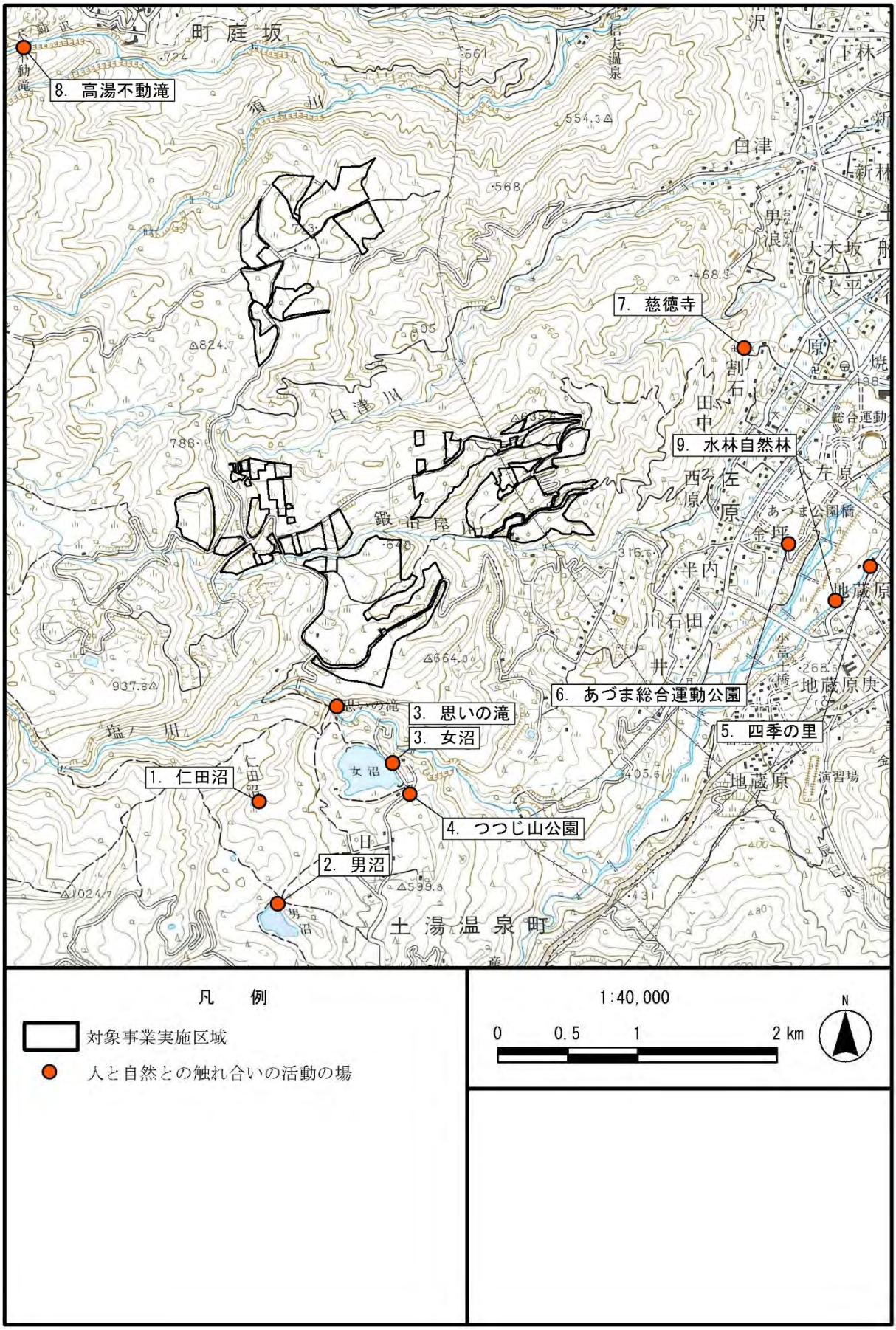
調査地域は、対象事業実施区域及びその周辺並びに、資材及び機材の運搬に用いる車両の主要な走行ルートの周辺とした。調査地点は、調査地域内の主要な人と自然の触れ合いの活動の場とした。

4. 調査時期

現地調査は、第 6.9-2 表の期間に実施した。

第 6.9-2 表　調査期間

調査項目	調査時期
主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況	平成 31 年 4 月 13 日


8. 高湯不動滝
7. 慈徳寺
9. 水林自然林
6. あづま総合運動公園
5. 四季の里
3. 思いの滝
3. 女沼
1. 仁田沼
4. つつじ山公園
2. 男沼
町庭坂
白津
大木坂
白津川
鍛冶屋川
塩ノ川
土湯温泉町
地蔵原
凡　例
対象事業実施区域
人と自然との触れ合いの活動の場
1:40,000
0
0.5
1
2 km
N

5. 調査結果

(1) 人と自然との触れ合いの活動の場の状況

1) 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

対象事業実施区域周辺に分布する人と自然との触れ合いの活動の場の概況は、第 6.9-3 表のとおりである。

調査範囲内における人と自然との触れ合いの活動の場は、8 地点が分布する。

第 6.9-3 表　人と自然との触れ合いの活動の場の概況

No.	名称	対象事業実施区域からの方向・距離	人と自然との触れ合いの活動の場の概要
1	仁田沼（にだぬま）	南 約 1.0 ㎞	仁田沼・男沼・女沼の間には遊歩道が整備され、2～3 時間のハイキングコースとなっており、道中にはカタクリ、バイケイソウ、コバイケイソウ、ミズバショウが自生している。女沼周辺には思いの滝とつつじ山公園がある。女沼の北西に位置する思いの滝は、2 段に流れる滝が、落下すると一筋の流れになることで、美しい観光名所となっており、女沼を一望できる丘にあるつつじ山公園では 5 月にヤマツツジの開花を楽しむことができる。
2	男沼（おぬま）	南 約 1.7 ㎞	
3	女沼（めぬま）・思いの滝	南 約 0.5 ㎞	
4	つつじ山公園	南 約 0.8 ㎞	
5	四季の里	東 約 2.0 ㎞	中世ヨーロッパ風の農村公園。農業に関連した体験施設や福島市内で生産された食材を使用した飲食店がある。その他、バッテリーカーやロープ遊具等、屋外でのレクリエーション施設もある。工芸館ではこけしの絵付け、ガラス工芸などが体験できる。
6	あづま総合運動公園	東 約 1.4 ㎞	ピクニックやレクリエーションが楽しめる広場とアスレチックの他、野球場やスタジアム、多目的広場等の各種運動施設がある。園の中心を通る桜並木の他、春～夏にかけてヤマユリ、シャクナゲ、アジサイ等の花々を楽しめる。園の北側にある民家園には、江戸～明治時代の福島県の民家や当時の生活の様子が再現されており、遠足や家族連れでの訪問を楽しめる施設となっている。
7	慈徳寺（じとくじ）	東 約 1.3 ㎞	福島市佐原地区の山の中腹に位置する。樹齢およそ 450 年の「慈徳寺の種まき桜」の他、カタクリ、イチゲなど様々な山野草が咲く。観音堂の北には伊達政宗の父、輝宗の首塚がある。
8	高湯不動滝	北西 約 2.0 ㎞	高湯温泉街から続く細い遊歩道を進み、2km ほど進んだところに位置する、落差 30m の滝。扇子を逆さにしたような形で末広がりの流れが勇壮である。滝の中腹付近の高さの展望台があるが、滝壺のそばまで下りることも出来る。紅葉シーズンには美しい景観を見に多くの人が訪れる。

「ふくしまの旅　福島県観光情報サイト」（福島県観光復興推進委員会 HP、閲覧：令和元年 9 月）
「こらんしょふくしま」（(一社）福島市観光コンベンション協会 HP、閲覧：令和元年 9 月）
「全国 観るなび」（(公社）日本観光振興協会 HP、閲覧：令和元年 9 月）
「浄土平 磐梯朝日国立公園」（環境省 HP、閲覧：令和元年 9 月）
「あづま総合運動公園」（(公財）福島県都市公園・緑化協会 HP、閲覧：令和元年 9 月）
「慈徳寺」（宝珠山 慈徳寺 HP、閲覧：令和元年 9 月）　より作成

2)主要な人と自然との触れ合いの活動の場の選定

人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況は第 6.9-4 表のとおりである。

人と自然との触れ合いの活動の場であり、不特定多数の利用が考えられる 8 地点を主要な人と自然との触れ合いの活動の場に選定した。

第 6.9-4 表　人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況

番号	名称	人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況	主要な人と自然との触れ合いの活動の場
1	仁田沼（にだぬま）	自然観察、ドライブ、ハイキング	○
2	男沼（おぬま）	自然観察、ドライブ、ハイキング	○
3	女沼（めぬま）・思いの滝	自然観察、ドライブ、ハイキング	○
4	つつじ山公園	自然観察、ドライブ、ハイキング	○
5	四季の里	自然観察、農業体験、散策、広場利用、遊具利用、ボール遊び	○
6	あづま総合運動公園	自然観察、散策、広場利用、遊具利用、スポーツ	○
7	慈徳寺（じとくじ）	自然観察、写真撮影、散策	○
8	高湯不動滝	自然観察、写真撮影	○

注 1：人と自然との触れ合いの活動、人と自然との触れ合いの活動の場の例は下記のとおり。

【人と自然との触れ合いの活動の例】

ハイキング、散歩、自然観察、史跡散策、動植物採取、農業体験、花見、花見＋宴会、写真撮影、スケッチ、釣り、ボート、水遊び、キャンプ、広場・遊具など利用、ジョギング、サイクリング、体操、乗馬、スポーツ施設の利用、通り掛かった、一時的な休憩、観光施設の利用等

【人と自然との触れ合いの活動の場の例】

散策路、遊歩道、登山道、自然探勝路、自然歩道、広場、ハイキングコース、サイクリングコース、オリエンテーションコース、バードウォッチングサイト等

注 2：主要な人と自然との触れ合いの活動の場　○:選定する　－:選定しない

(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況、利用状況及び利用環境の状況

1) 文献及びその他の資料の調査結果

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況、利用状況及び利用環境の状況は、第 6.9-5 表～第 6.9-9 表及び第 6.9-2 図～第 6.9-6 図のとおりである。

第 6.9-5 表　主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況
（仁田沼・男沼・女沼・思いの滝・つつじ山公園）

項目	調査結果	
名称	仁田沼・男沼・女沼・思いの滝・つつじ山公園	
概要	土湯温泉町から車で 10 分のところに仁田沼駐車場があり、駐車場から仁田沼までの道中にはカタクリやミズバショウ、コバイケイソウの群生が見られる。仁田沼には 4 月中旬から 5 月下旬にかけて周囲 1,000 平方メートル余りの湿原一帯に、10 万株ものミズバショウが開花し、土湯温泉の春の行楽スポットとして毎年多くの観光客が訪れる。女沼にはカタクリ、バイケイソウが自生している。 仁田沼・男沼・女沼の間には遊歩道が整備され、2～3 時間のハイキングコースとなっているため、新緑や紅葉の季節には多くの人が訪れる。女沼周辺には思いの滝とつつじ山公園がある。女沼の北西に位置する思いの滝は、2 段に流れる滝が、落下すると一筋の流れになることで、美しい観光名所となっており、女沼を一望できる丘にあるつつじ山公園では 5 月にヤマツツジの開花を楽しむことができる。	
分布状況	対象事業実施区域の南 約 0.5km～南 約 1.7km	
利用状況	【利用概要】	利用形態：自然観察、ドライブ、ハイキング 利用期間：年中 イベント：-
	【アクセス】	公共交通： 【仁田沼】JR 福島駅→福島交通バス→浄土平 【男沼・女沼・つつじ山公園】JR 福島駅→福島交通バス（土湯温泉行）→土湯温泉下車→徒歩 1 時間（女沼・つつじ山公園・思いの滝）、徒歩 1 時間 15 分（男沼） 自動車等： 福島西 IC から 25 分（女沼・つつじ山公園・思いの滝） 福島西 IC から 25 分、徒歩 15 分（男沼） 福島西 IC から 25 分、徒歩 20 分（仁田沼）
	【管理者等】	土湯温泉観光協会
利用環境の状況	駐車場：50 台（仁田沼・男沼）、15 台（つつじ山公園・女沼・思いの滝） 施設等：トイレ 指定等：磐梯朝日国立公園	

「ふくしまの旅　福島県観光情報サイト」（福島県観光復興推進委員会 HP、閲覧：令和元年 9 月）
「こらんしょふくしま」（(一社) 福島市観光コンベンション協会 HP、閲覧：令和元年 9 月）
「全国 観るなび」（(公社) 日本観光振興協会 HP、閲覧：令和元年 9 月）
「浄土平 磐梯朝日国立公園」（環境省 HP、閲覧：令和元年 9 月）　より作成